

CASBEE-建築(新築)2016年版 (仮称)柏冷凍冷蔵倉庫開発PJ		■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)						
スコアシート 実施設計段階								
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境	1.1 室内騒音レベル			3.3	0.15	-	-	3.3
	1.2 遮音			3.0	0.40	-	-	
	1 窓口部遮音性能			3.4	0.40	-	-	
	2 界壁遮音性能	界壁遮音性能 Dr~40		3.0	0.60	-	-	
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			4.0	0.40	-	-	
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	-	
	1.3 吸音	床、天井の二面に吸音材を使用		4.0	0.20	-	-	
	2 溫熱環境			2.5	0.35	-	-	2.5
	2.1 室温制御			3.2	0.50	-	-	
	1 室温			3.0	0.38	-	-	
3 光・視環境	2 外皮性能	Low-eガラスを採用		4.0	0.25	-	-	
	3 ゾーン別制御性			3.0	0.38	-	-	
	2.2 湿度制御			3.0	0.20	-	-	
	2.3 空調方式			1.0	0.30	-	-	
	3.1 昼光利用			3.1	0.25	-	-	3.1
	1 昼光率			3.0	0.30	-	-	
	2 方位別開口			3.0	0.60	-	-	
	3 昼光利用設備			3.0	0.40	-	-	
	3.2 グレア対策			3.0	0.30	-	-	
	1 昼光制御	全般照明方式で平均照度700lx		3.0	1.00	-	-	
4 空気質環境	3.3 照度			4.0	0.15	-	-	
	3.4 照明制御			3.0	0.25	-	-	
	4.1 発生源対策			4.3	0.25	-	-	4.3
	1 化学汚染物質	全面的にF☆☆☆☆及び規制対象外の建材を採用		4.0	0.50	-	-	
	4.2 換気	建築基準法の1.4倍以上の換気量を確保		4.3	0.30	-	-	
	1 換気量	事務室面積の1/15以上の開閉可能な窓を確保している		5.0	0.33	-	-	
	2 自然換気性能			5.0	0.33	-	-	
	3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.33	-	-	
	4.3 運用管理			5.0	0.20	-	-	
	1 CO ₂ の監視	館内全面禁煙		-	-	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.3
1 機能性	1 機能性・使いやすさ			2.9	0.40	-	-	2.9
	1.1 広さ・収納性	1人当たりの執務スペースは12m ² 以上		2.6	0.40	-	-	
	2 高度情報通信設備対応			5.0	0.33	-	-	
	3 バリアフリー計画			2.0	0.33	-	-	
	1.2 心理性・快適性	天井高は3.0m		1.0	0.33	-	-	
	1 広さ感・景観			2.6	0.30	-	-	
	2 リフレッシュスペース			5.0	0.33	-	-	
	3 内装計画			1.0	0.33	-	-	
	1.3 維持管理	防汚性の高い床材や壁材の採用、金属部分の防錆対策の実施等		3.5	0.30	-	-	
	1 維持管理に配慮した設計			4.0	0.50	-	-	
	2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性	2.1 耐震・免震・制震・制振			3.1	0.30	-	-	3.1
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.50	-	-	
	2 免震・制震・制振性能			3.0	0.80	-	-	
	2.2 部品・部材の耐用年数	タイルカーペットや岩綿吸音板等の採用		3.4	0.20	-	-	
	1 車体材料の耐用年数			3.0	0.30	-	-	
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.20	-	-	
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			5.0	0.10	-	-	
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10	-	-	
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔			5.0	0.20	-	-	
	6 主要設備機器の更新必要間隔	主要な用途上位3種の2種以上にBを使用し、Eは使用していない		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性	1 空調・換気設備			3.2	0.20	-	-	
	2 給排水・衛生設備	重要設備機器について耐震クラスAで計画		3.0	0.20	-	-	
	3 電気設備			3.0	0.20	-	-	
	4 機械・配管支持方法			4.0	0.20	-	-	
	5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 空間のゆとり		4.6	0.30	-	-	
1 階高の中とり	最も階高が低い階でも、階高は7.0mを確保	5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.153	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重の中とり	倉庫の床積載荷重:15000N/m ²	5.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.40	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	2.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用		3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.89	2.5	0.63	-	-	2.5
4 効率的運用		3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	自動水栓等に加えて、節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雜排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.5	0.60	-	-	3.5
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル床シート、タイルカーペット	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材の分別が容易、フリーアクセスフロアを採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ノンフロンの断熱材を使用	4.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮	排出率=95%	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮		3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止	燃焼機器の設置はない	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制	行政指導はないが雨水流出抑制対策を実施している	3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		4.0	0.25	-	-	
2 污水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	駐輪場及び駐車場の確保、荷捌き駐車場の確保等	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	0.50	-	-	
2 振動		3.0	0.50	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制	光害対策ガイドラインの過半を満足	3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		4.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	